

令和6年度第1回芽室町総合教育会議 議事録

日 時 令和6年5月29日(水) 15:40~16:30
場 所 芽室町役場2階会議室7

出席者	芽室町長	手島 旭
	教育委員会 教育長	程野 仁
	教育長職務代理者	鳥本 和宏
	委 員	福井 栄子
	委 員	松久 大樹
	委 員	土井 慎悟
総合教育会議事務局	政策推進課長	有澤 勝昭
	政策推進課政策調整係長	大石 秀人
	政策調整係主事	天野 美音
教育委員会事務局	生涯学習課長	江崎 健一
	教育推進課教育総務係長	金須 智秋
	教育推進課給食センター長	側瀬 美和
環境土木課	環境土木課参事	齋藤 和也

議事録

1 開会

要綱第4条に基づき、町長が議長になり進行

2 議題

(1) 芽室町地球温暖化防止実行計画(区域施策編)について
環境土木課齋藤参事から、資料に沿って計画について説明。

手島町長

概要版の資料では、削減目標など数字は書かれているが、どうしたら削減できるのかというところが分かりにくくなっていると思う。しかし、本編にはコンサルタントに依頼し、その根拠も書かれており、この数字は具体的なものとなっている。

今、DXとGXは全国の自治体でもマストな課題であるが、芽室町はまだゼロカーボンシティ宣言をしていない。それは、まだ根拠ができていないためである。しかし、この計画である程度固まったため、8月以降に宣言していきたい。まずは、行政側でできることを表し、施策を考えていく。この計画をもとにこれから具体化していくのが、町の考え方である。

教育委員の皆さんには、P12 行動変容の行政部分の「環境学習、イベント等の開催」「小中学校への環境教育の実施」などの面で意見を頂きたい。

鳥本委員

この計画のイメージはできるのだが、町民は、地球温暖化に対してあまり深く考えていない印象である。公共の施設から子どもたちへ発信し、子どもたちから大人へという伝え方でないと、伝わるのにも時間がかかるのではないかと。大人へ説明するのが一番伝わっていきにくいと思う。

手島町長

行政が本気でないと町民に行動してもらえない。行政がどんどん取り組んでいる印象があれば、町民の感覚も変わってくるのではないかと。DXは変化が分かりやすいが、GXはわかりにくい。しかし、目標を立てないと進めていくのも難しいため、目標を立て行政が先導して進めていく。

福井委員

ごみの分別について、高齢者世代は分別をせずに出すことが普通だった世代である。その世代の意識を変えていくのは、かなり大変であると思うが、子どもたちに小さいころから指導することで、それを大人へ伝えてくれるのではないかと。さらに、自分に得があることだと取り組みやすいのではないかと。例えば、電気代の削減など。

手島町長

数字が大きすぎてわかりにくいと思うが、温室効果ガスの排出量としては、町内の4つの大きな事業所が排出しているのがほとんどである。その企業にも努力はしてもらうが、そのほかの部分でも削減していくことが大事である。地域一体化のゼロカーボンである。ごみの分別に関しては、分別が多くて大変だという声もあるが、くりりんセンターからの芽室町の評価は高くなっている。分別して出した方がリユースリサイクルになるため、理解をしてもらえるよう意識醸成していかなければならない。

松久委員

大人よりも子どもが素直に行動を変えてくれると思う。子どもの意識を変えるのに大切なのは、学校の先生の行動である。授業で環境問題のことを教えても、授業後、先生が電気を消さないなどの行動をすると、それを子どもたちは見ているため影響が大きい。エアコンに関しては、夏は暑いいため熱中症防止でエアコンを使うという面と節電をしなければならないという面では、大人でも正解が分からない。

手島町長

エアコンの設定は、ある程度決めているのか。

程野教育長

ある程度決めているが、指示通りに動いていない状況。そのことに関して、ホットボイスも来ている。学校単位では、同じ動きをしてほしいと伝えている。電気のつけっぱなしに関しても同様である。何のためにするのか理解してもらったうえで、行動してもらうことが大事。この件に関しては、全校で統一して目標を立てられたらいい。

手島町長

子どもたちに理解してもらったうえで、行動してもらうのがいい。気候変動で気温もおかしくなっているため、実感してもらえる機会であると思う。今の子どもたちに、自分たちの下の世代のため

にもという考えを持ってもらえるといいサイクルが出来上がる。僕らの時は環境教育がなかったので、行うことでいいものになると思う。

土井委員

やはり町民全体に浸透させるのが大変であると思う。僕自身は農家なので、トラクターを使っているが、GPS の性能が良くなっており、効率的に仕事ができるが無駄に走らせる必要がない。GPS の補助があれば、計画の数字にもいい影響を及ぼすのではないか。

手島町長

役場では、DX と GX を一緒に考えている。切り離して考えてはいけない。役場では、DX は 1 係 1 DX としており、これから GX も連携させたりして進めていきたい。DX と GX は繋がりがあ、流れとしてはいい。今後予算などにも反映させていく。家庭でもこの 2 つが繋がってくるケースはあると思う。

土井委員

東京などの都会は特に、AI が声に反応して電気を消したりテレビを消したりするものを取りいれている家庭が多いと思う。

手島町長

組み合わせることで、削減につながる。

このようにして、計画に基づき取り組んでいくため、今後提案などがあれば教えていただきたい。

16:30 閉会